

2026年
8月1日発行
214号

工工町
江美
えびし

議会だより

6月15日

第2回定例会開催

12月 3月
定例会
9月 6月



上手にぬれたよ～

☆ シニアカレッジ
～児童・園児との交流～

目次

- ・ 定例会・議案審議 P2～3
- ・ 一般質問（7名） P5～11
- ・ 委員会報告 P12
- ・ 臨時会・全員協議会 P15

6月定例会 こんなことが決まりました！

江差町歴史的風致維持向上計画策定事業等
計2,848万8千円を補正

6月15日に開催された第2回定例会で補正予算を含む議案等が審議され、全て原案のとおり可決されました。

補正予算

一般事業

このページでは、今回補正予算の注目事業を紹介します！

◎一般会計

◇江差町歴史的風致維持向上計画策定事業

1,030万円（国庫支出金及び一般財源）

「歴史まちづくり法」に基づく「歴史的風致維持向上計画」を策定するもので、計画の策定を通じて、当町の歴史的風致を明らかにするとともに、その維持活用の方針を示し、歴史観光まちづくりの一層の推進を目指すもの。



国の重要文化財に指定されている「中村家」

◇HBCラジオ江差中継局管理用道路整備資材高騰分

260万円（全額一般財源）

中東情勢の緊迫化に伴う資材費等の高騰により、工事費に不足が生じる見込みがあることから専決処分したもの。

◇行政情報化・電子自治体推進庁内ネットワーク強化サーバー更新

567万6千円（全額一般財源）

インターネット系サーバーの保守管理に必要な経費を補正するもの。

◇国標準化システム導入に伴う印刷発注業務

39万6千円（全額一般財源）

国の標準化システムが本格稼働することに伴い、納税通知書及び納付書を標準化指定レイアウトにより調達するもの。

◇総合行政システム改修業務（旧氏及び旧氏の振り仮名表記等に係る対応）

198万円（全額国庫支出金）

戸籍の附票に旧氏及び旧氏の振り仮名を記載し、マイナンバーカードへの表記等を可能とするとともに、住民票や本人確認情報に振り仮名記載を反映させるもの。

◇江差町かもめ島交流拠点づくり整備事業

214万円（その他特定財源及び一般財源）

新道の駅整備を踏まえた上町・下町の商店街振興など、地域経済活動の振興発展につなげるため、寄附金の全額を積み立てるもの。

◇檜山地域人材開発センター浄化槽放流ポンプNo.2及びフロート取替工事

27万9千円（全額一般財源）

保守点検により、経年劣化等による故障が判明したため、取替工事を実施するもの。

◇経営所得安定対策等推進事業

82万2千円（全額道支出金）

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付し、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るもの。

◇豊かな前浜づくりプロジェクト ナマコ養殖事業補助

300万円（全額その他特定財源）

ナマコ増殖礁50基を設置し、増殖礁の二次的な効果として、藻場造成によるブルー・カーボンの取り組みを推進するもの。



江差町で養殖されているナマコ

◇職員研修（小学校特別支援教育対策知能検査研修）

40万円（全額一般財源）

最新版ウィスク検査を取り入れるため、検査を実施・分析するための要件である公認心理士資格を有する町教委指導主事の受講費用を措置するもの。

◇江差北中学校朝日方面部活動便車両リース事業

89万5千円（全額一般財源）

部活動送迎等で専用車両が必要な状況にあることから、リース契約をするもの。

◎財源更正

◇有害鳥獣駆除

498万4千円（一般財源から道支出金）

町のヒグマ対策として行う捕獲事業や出没防止対策に関する経費について、道へ補助要望していたところ、本年3月26日付けで内示があったことから更正するもの。

◎国民健康保険費特別会計

◇国標準化システム導入に伴う印刷発注業務

35万5千円（全額一般財源）

現在使用している端末サポート期間が終了することに伴い、セキュリティ対策のアップデートがされなくなることから、更新するもの。

その他

◎報告

◇令和7年度一般会計継続費繰越計算書

（仮称）道の駅「かもめ島」整備事業ほか2事業、20億6,776万8千円を繰り越して使用。

◇令和7年度一般会計繰越明許費繰越計算書

令和8年度に繰越して使用する予算について報告。（仮称）道の駅「かもめ島」整備事業（開陽丸管理棟解体）他10事業。2億8,362万8千円を繰越。

◎条例改正

◇江差町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税率の改正に伴うもの。

◎その他

◇和解及び損害賠償額の決定

◎報告

◇令和7年度（繰越）町道陣屋楸川線

第3楸川橋橋架換工事（旧橋解体工）

〔契約相手方〕 株式会社 前田組 代表取締役 前田 憲男

〔契約の金額〕 5,830万円

◇令和8年度五厘沢山崎線

第2工区道路改良工事（路体盛土工）

〔契約相手方〕 株式会社 前田組 代表取締役 前田 憲男

〔契約の金額〕 5,126万円



解体予定の「旧第3楸川橋」



道路改良工事予定の「五厘沢山崎線」

意見書を提出

6月定例会では5件の意見書を提出し、全て可決、関係行政機関へ送付しました。

《可決》

◇地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について

◇ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書の提出について

◇義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書の提出について

◇道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書の提出について

◇令和8年度北海道最低賃金改正等に関する意見書の提出について

第2回定例会 行政報告

第2回定例会において次のとおり、町長が行政報告しました。

- 1 令和7年度江差町各会計決算見込みについて

歳入総額	73億5,971万円
歳出総額	71億1,309万1千円
歳入歳出差引	2億4,661万9千円

 繰越明許費繰越しを差し引いた実質収支は2億245万8千1百円で、1億2千万円を財政調整基金に積立、残額は繰越金。
- 2 令和7年度江差町水道事業会計決算概要について

営業収益	2億3,983万8千円
営業費用	2億8,464万9千円
営業外収益	2億151万8千円
営業外費用	2,643万7千円
当年度純利益	1億3,057万7千円
- 3 令和7年度江差町公共下水道事業会計決算概要について

営業収益	3,670万6千円
営業費用	1億7,851万1千円
営業外収益	2億4,335万円
営業外費用	2,448万円
当年度純利益	7,741万8千円
- 4 寄附採納について
 - ◇関村 佳紀 様
現金10万円（新道の駅整備事業活用として）
 - ◇江差経済同友会 会長 小笠原 弘 様
現金213万9,612円
（江差町の経済活動の進行・発展のため）
 - ◇株式会社HSS 代表取締役 鈴木 真人 様
企業版ふるさと納税20万円
 - ◇矢口港湾建設ヤグチダイバー株式会社
代表取締役 矢口 政則 様
企業版ふるさと納税300万円
（5年連続、同額のご寄附）

第2回臨時会において次のとおり、町長及び教育長が行政報告しました。

- 1 寄附採納について（町長行政報告）
 - ◇江差ライオンズクラブ 会長 中村 英樹 様
学用品30セット
 - ◇第一生命保険株式会社 札幌総合支社
江差営業オフィス機関長 前田 和美 様
タオルチーフ26枚
 - ◇江差グリーンエナジー株式会社
代表取締役 今村 久代 様
現金300万円（4年連続、同額のご寄附）
 - ◇株式会社光栄コンサルタント
代表取締役 西村 智晴 様
企業版ふるさと納税（金額非公表）
 - ◇株式会社北辰運輸 代表取締役 矢原 幸康 様
現金100万円（スポーツ少年団への支援として）
 - ◇北清えさし株式会社 代表取締役 湯藤 学 様
現金10万円（清掃活動等環境保全活動として）
- 2 学校職員の逮捕について（教育長行政報告）

7 一般議員が町政を問う

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

◆質疑は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。要約されていない質疑を確認したい場合は「ホームページ」もしくは「YouTube」をご覧ください。

◆表示の説明◆

文中の「再」はそれぞれ再質問、再再質問を表します。

無会派

大門 和幸

議員

問 政策方針と今後の町政運営について 答 道の駅開業等による地域活性化を推進



大門 和幸議員

のように総括されているか。

4期目において、特に重点的に進めたい政策は何か。

江差町の将来像をどのように描いているのか。

町長は、先般7月に予定されている町長選挙において4期目への出馬を表明され、3期

長期政権となる中で、町政運営の緊張感や組織の活性化をどのように図っていくか町長の考えを伺う。

町長 気軽に町内移動

12年に渡り、人口減少対策、地域経済対策、子育て支援、防災対策など様々な行政課題に取り組んでこられた一方、地方自治体を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、人口減少や少子高齢化、人手不足、地域経済の縮小など江差町においても大きな課題が山積みしており、町長が4期目を目指す決意に至った理由について伺う。

また、これまでの3期12年の町政運営をどのように総括されているか。

で計画が進む洋上風力発電事業など、江差町にとって大きな転換期となる。皆様からの励ましの声を頂いたこともあり、これまでの12年間の単なる延長線上ではなく、進化する江差町を目指し、次の4年間も全身全霊で町政の舵取り役を担っていききたいという思いを強く抱くようになり、7月の町長選挙に4度目の挑戦する決意を固めた。

3点目の、4期目で重点的に進めたい政策について、来年6月に開業予定の新しい道の駅は運営事業者グループと連携し、観光客にも町民にも愛される地域の顔としての役割を果たし、町内の経済循環に好影響をもたらす着実な走り出しを、私自身の手でしっかりとやり遂げたいと思っております。また、洋上風力発電事業を含むエネルギー分野では、官民が一体となった地域経済に繋がる枠組みを構築し、エネルギーの地産地消も実現していき



無償化となっている学校給食

いと考えている。財政基盤の安定化が喫緊の課題であり、好調なふるさと納税の更なる強化で、中期財政運営方針と財政基盤強化策の見直しを行い、歳出抑制の徹底を図って参ります。

4点目、町政運営の緊張感や組織活性化をどのように図っていくのかについて、権力の行使は常に抑制的であるべきとの考えを持つ

議論に緊張感を持って臨んで参りたい。また、組織の活性化では、役場職員の皆様の力が最大限発揮できる環境を作ることが何よりも大事であり、町職員が意欲を持って業務に当たることができるよう、ボトムアップの仕組みを再度構築していききたいと思っている。

て町政運営に当たってきた。イギリスの歴史家ジョンアクトンの言葉「権力は腐敗する絶対的権力は絶対的に腐敗する」という言葉を胸に刻み、驕らず謙虚に町政運営に当たって参りたいと考えており、二元代表制のもと、市町村長の独走をチェックする監視機関としての議会の役割をしっかりと認識し、今後とも町議会との活発な

無会派

増永 一彦 議員
ますなが かずひこ

**問 日本遺産（ニシンのぼり）について
答 掲揚以外の活用方法を検討していく**



増永 一彦議員

巨大ニシンのぼりをなぜ作成したのか、また2020年度以降、巨大ニシンのぼりがなぜ掲げられなかったのか。更に今後、巨大ニシンのぼりをどのようにするか伺う。

追分観光課長 協議会

江差の5月は江戸にもない、ニシンの繁栄が息づく街というタイトルルのストーリーが日本遺産に認定され9年が経ち、この間のストーリーに関連する事業が行われたが300万円以上の事業を伺う。

町長 全部で11事業あり、いずれの事業も江差町観光まちづくり協議会が主体となって実施しております。

再 巨大ニシンのぼりについて、約400万円をかけて制作されているが、合計8回しか利用されておらず、費用対効果が悪いように思われる。大型クレールがなければ揚がらない

巨大ニシンのぼりをなぜ作成したのか、また2020年度以降、巨大ニシンのぼりがなぜ掲げられなかったのか。更に今後、巨大ニシンのぼりをどのようにするか伺う。

町長 ニシンのぼり作成の経緯は、当時の小学生と意見交換する中で大きなニシンのぼりを江差町に掲げたら地

域の活性化になるのではないかとご提案を頂いたところであり、子供たちの夢を乗せた日本遺産ということを目指して作成されたものであると考えております。活用についての指摘は真摯に受けとめ、今後地域の活性化に繋げていきたいと考えておりご理解願います。

増永議員 答弁漏れ。

当初作成時に、どういう運用をするか計画していたかを質問している。

町長 当初は、毎年掲揚して多くの観光客、町民に見てもらうことを想定していたが、それだけじゃない活用の仕方を検討しながら有効に活用することを考えております。



ニシンのぼり掲揚の様子

**問 「新道の駅」の建設費について
答 事業者と協議、調整を行っていく**

新道の駅について、中東情勢によるナフサ問題も浮上している中で、本場に事業者グループの企業努力で建設費は増えないのか伺う。

町長 想像以上の資材等の高騰に対しては、全てを企業努力という形で求めることは妥当ではないと考えており、契約のルールに則りながら、事業者と協議、調整を行っていくことを考えております。

再 令和6年6月成立した改正建設業法により契約前に通知することが義務化されたが、リスク情報通知を建設業者から頂いているか伺う。

再質問の内容が通告に沿っていないことから議事進行、議会運営委員会を開催。今回の一般質問の流れの中ではふさわしくないかと認定。建設に係る部分のみ再質問とする。

**問 HPVワクチンについて
答 優先順位を付けて検討していく**

HPVワクチンは女性の子宮頸がんの予防として、定期接種化され公費助成が行われているが、全国平均接種率より江差町の接種率が低い理由を伺う。

町長 過去に重篤な副反応の事例が報道されたことの影響を受け、接種をためらう方が多いと推察している。今後引き続き対象者にワクチン接種の勧奨を

行うとともに、接種に関して相談等があった場合には、正確な情報を提供し不安の解消に努めていきたいと考えております。

再 HPVワクチンは他のがん予防にも効果があり、ワクチン接種率を上げ町民のがん予防に力を入れて頂きたい。また、男子にも効果があるようだが、男子の場合は公費助成が

う。

2点目、財政調整基金の残高から見れば、早期健全化団体に向かっており、江差町の財源で新道の駅建設を行うことは財政的に危険で問題が多く、道の駅を中止すべきと考えが所見を伺う。

まちづくり推進課長

リスク情報通知という形では頂いていないが事業者とは状況について等意見交換をさせて頂いている。

副町長 今現在進行中でありご理解願います。

ないため、男子のワクチン接種の助成の検討について考えを伺う。

健康推進課長 HPVワクチンだけでなく、他のワクチンも含めて優先順位を考えながら検討していきたいと考えております。

他のがん予防にも効果があり、ワクチン接種率を上げ町民のがん予防に力を入れて頂きたい。また、男子にも効果があるようだが、男子の場合は公費助成が

無会派

塚本 つかもと

眞 眞こじつ 議員

問 檜山沖洋上風力の今後について 答 公募に向け、準備を進めていく



ため都度、事業環境等を踏まえ見直されており、第4ラウンドとなる檜山沖はより洋上風力発電事業の完遂に向けた整備がされるものと考えている。

昨年、檜山沖が洋上

風力発電の促進地域に

指定され、経済産業省

では昨年の12月に新た

な公募制度を発表し公

募制度が大きく変わっ

た。公募制度改正によ

り檜山沖洋上風力発電

の今後が大きく変わっ

ていくと思われるが、

江差町で把握している

スケジュールや公募時

期など伺う。

町長 公募制度の見直

しは洋上風力事業の長

期的、安定的かつ効率

的な実施を可能とする

フォームを中心とした受け入れ体制の整備や、町内における洋上風力人材育成施設の整備に向け準備を進め、公募制度の見直しで洋上風力発電事業を確実なものとし、地域に対する経済効果を最大化するものと考えておりご理解願います。

当町で把握している

スケジュールですが、

国では第1ラウンド3

海域の公募占用指針案

の策定に向け準備をし

ており、檜山沖やその

第1ラウンドの再公募

が終了してからと想定

している。町としては、

昨年12月に設置した洋

上風力推進プラット



富山県入善町洋上風力発電事業写真
(総務産業常任委員会行政視察において撮影)

問 役場機能のDX推進について 答 基幹システムをベースに進めていく

町では役場機能のデジタルトランスフォーメーションを推進することとしておりますが、現状のこれまでの取り組み内容についてどの程度進んでいるのか伺う。

町長 国が進める標準準拠システムへの移行を本年の10月を目標に進めており、今後は標

準化された基幹システムをベースに、データ活用の在り方などの検討を進めていくこととしておりご理解願います。

町長 中々進んでない現状と感ずるが、議会等もDXをどんどん進めるべきと思っており、タブレットの導入等様々な可能性も含めて

今後の検討課題になると思われるが所見を伺う。

総務課参事 議員若しくは職員への、タブレット等を活用したペーパーレス化を目指していきたいと考えている。まずは優先的に基盤を整え活用を目指して行きたいと考えておりご理解願います。

問 人口減少の要因、施策について 答 各種施策の見直しも含め対策を検討

町長は町政執行方針

で人口減少、少子高齢

化という課題に対し雇

用機会の創出や暮らし

やすい環境を整備する

ことで人口の流出を抑

制し、若年層の定住促

進を図ることを目指し

まち作りを進めてきた

が江差町では前回の調

査から比べて15・7%

人口減という結果とな

伺う。

町長 江差町の人口ピ

ジョンにおける人口目

標を下回る厳しい数字

となっており、強い危

機感を持っている。

人口減少の要因につ

いて、自然減・社会減

2つの要因があると認

識しており、令和7年

度の自然減に関しては、

出生数17人に対し、死

関しては、転入が371人に対し、転出が431人と転出超過となっており、これまで進めてきた子育て環境の充実など定住促進に向けた各種施策が一定程度、社会減抑制に繋がっているものと考えている。今後、人口動態のデータを詳細に分析し対策の見直しも含め検討を進めていくことを考えておりご理解願います。

町長 出生数17人に対し、死亡数135人と出生数が死亡数を大きく下回っている。社会減に

無会派

飯田 隆一

議員

問 新道の駅運営・管理体制について 答 地域に根差した事業展開を求めていく



飯田 隆一議員

1点目、指定管理者として委託契約を結ばれることになるが、現地法人を設立して頂き、色んな分野で協力をさせて頂きたいと考える。商工会や観光協会等にも加入して頂きながら、納税を通して町にも貢献して頂くという意味でも、現地法人を作って対応すべく町の方から提言求めたい。

2点目、開陽丸財団との関連性はどのようになるのか伺う。また、現在勤務している職員の方々の雇用について、維持継続されるべきと考えているがどのような町が提案するのか伺う。

3点目、江差観光みらい機構との事業の協働、協調性が求められるがどのように事業者に提案をしていくのか伺う。

4点目、町民懇談会において女子トイレ不足について指摘があった。実施設計は済みであるが町として考えを伺う。

町長 1点目、現地法人の設立に関して、地域との連携を図っていく上で意義、効果があるものと理解しているが、要求水準書において現地法人の設立を要件としていない。事業者からの計画は様々な形で地域との連携、地域資源の活用、地域経済への波及に繋がる取り組みとなっている。引き続き、地域に根ざした事業展開となるよう事業者側に求めていきたい。

2点目、開陽丸財団において、これまで開陽丸記念館の管理運営を行ってきたノウハウがあり、開陽丸の価値を損なうことなく運営の移行が円滑に行われるよう取り組んでいく。職員の雇用に関して、事業者と開陽丸職員の面談の機会を作るなどを検討しておりご理解願います。

3点目、観光情報の発信や旅行商品の造成、誘客活動など様々な分野で協力関係を構築することが重要であると考えており、定期的な情報共有や協議の場を設けるなど連携強化に努めることを検討している。

4点目、実施設計が完了し既に着工している段階であり、現時点で女子トイレの増設は難しいが、イベント開催時など一時的な混雑時において、隣接するマリンスポーツ交流センターのトイレの活用なども含め臨機応変に対応していきたいと考えており事業者側と協議していくため考えの

ためご理解願います。
再 国交省から公衆トイレの指針、ガイドラインが発表され、電子看板等で使用状況を出したり、混雑時にはパーテーションを設置するなど、設計変更も含めガイドラインに沿った努力はすべきと考えるが所見を伺う。

まちづくり推進課長

現時点で設計の見直しまでは想定していないが、流動的に対応併せて隣接するマリンスポーツ交流センターのトイレを活用するなど検討していきたいと考えている。運営面での課題等、事業者側と協議をしていきたいと考えておりご理解願います。



送迎で使用している町生涯学習バス

問 小学校体制の在り方について

答 町長部局と連携しながら検討を進める

町内小学校において複式学級が増えており、今後6年間のデータを基にも1桁台のクラス編成である。町内3小学校体制については見直しや検討段階にあると思いますが、教育長の所見を伺う。

教育長 江差町教育推進計画において、小中一貫教育や小中連携事業等の推進、郷土芸能の伝承等、特色ある教育活動を展開するとともに、少人数環境の強みを生かした、きめ細かな学習指導に努めております。児童生徒にとって望ましい学校環境のあり方を検討する上で、多様な教育的価値や地域における学校の役割などを総合的に勘案し、町長部局と連携しながら検討していく必要があると考えておりご理解願います。

問 部活動地域移行と送迎支援について

答 課題整理を行い、地域展開を進める

地域移行に向けた実施時期の見通しを伺う。

2点目、遠征や練習等、事故防止の観点からも交通の問題について、町の支援が求められるが所見を伺う。

教育長 1点目、受け皿となる団体や指導者の確保等に課題があることから、全ての競技が地域展開には至っていない。当面は合同部活動を継続しながら、

2点目、大会参加など遠征時には生涯学習バスや公用車の状況に応じて送迎を行っている。練習等での送迎については地域展開を進めていく中で検討していきたいと考えておりご理解願います。

無会派

出崎 徳さき

太郎

議員

問 江差港の整備方針について

答 関係機関と具体的な協議を進めていく



出崎 太郎議員

鞏固のために、半島道路網の整備と共に江差港に函館被災時の支援機能整備を北海道開発局に要望する考えはあるかを伺う。

町長 昨年9月に開催した港湾審議会では、新道の駅の建設や、陸上、洋上風力発電事業の進捗状況、釣り文化振興モデル港の指定など、江差港周辺で計画されている事業に関する情報を提供した。今後、関係機関を交えゾーニング計画に関する具体的な協議を進めていくこととなっております。ご理解願います。

2点目、函館江差自動車道本古内江差間整備促進協議会で、要望活動を継続し行っておりまた、半島防災の強化を含め、半島地域が抱える諸課題の解決に向けて要望していきたいと考えておりご理解願います。

再 平成14年3月に江差港長期構想計画が策定されているが、江差港長期構想計画の見直しを検討しているのか伺う。

2点目、太平洋側の港が被害にあった場合、日本海側から函館を支援する事前復興計画は重要と考えている。江差の長期構想計画の中でその視点を取り入れる必要があると考えているが所見を伺う。

産業振興課長 長期構想計画について、平成14年3月に策定された

ゾーニングの見直しも含めながら改正していくことを考えている。

2点目、能登半島地震を教訓に地方港湾における港湾BCP策定ガイドラインの改訂版が公表された。港湾BCPの策定に当たり、函館市などを含めた近隣市町との連携した協議や専門的な分析、調査が必要となり、長期構想の見直しも含めて改正作業を進めていきたいと考えておりご理解願います。



江差港にて積み降ろし作業を実施している洋上風力

問 人材バンクの整備について

答 制度や有資格者の活用を検討する

昨年度の決算委員会では技術系職員の欠員が指摘されており、町在住の有資格者や特殊能力を持つ者をリストアップしデータベース化するなどで、協力体制を整えることが行政サービスの向上に有効と考えているが所見を伺う。

町長 町内在住の有資格者や特殊能力を持つ方々のデータベース化、いわゆる人材バンクについて、行政運営の補完や住民サービスの質の維持、向上を図る上で有効と認識しており、北海道の人材バンク制度については、複数の制度が存在し、目的や様々な分野に応じて市町村への人材の派遣などの支援を実施している。今後は専門人材の確保や大規模災害発生時などの有事の際の応援など必要に応じて各関係、各課との連携協議を行った上で、北海道における人材バンク

制度の活用や町内における人材バンクの可能性などについても議論を深めていくことを考えておりご理解願います。

再 人材バンクについて、外国語を話せる人が町内にどのくらい居るか、介護資格、看護資格を持っている方がどのくらい居るか等をリストアップするなど、行政が担うには困難な部分もあることは理解しているが、踏み込んだ答弁頂きたい。

総務課長 北海道では様々な分野において人材バンク制度もあるが、市町村では少ない。基本的には北海道で持っている人材バンク制度の活用をどう考えるかが重要と考えている。町内における有資格者の活用等については今後議論していきたいと考えておりご理解願います。

無会派

小梅

洋子

議員

問 空き家実態調査について

答 実態把握と問題に解消に努めていく



小梅 洋子議員

町広報で空き家の問

題が大きく報じられ、数の多さに驚いている。地区、不良度、所有者の意向について載っておりその中で、愛宕町空き家4戸となっていたが、その倍以上は空き家があると認識している。今回対象となった物件はどこか同う。

2点目、空き家の条件・基準について同う。

3点目、調査は外部委託によるものか同う。

町長 2点目の空き家の定義について、調査に用いた判定基準は、空き家等対策の推進に関する特別措置法及び市町村による特定空き

問 独居老人の推移について

答 安心して暮らせる地域作りを推進する

江差町の高齢化率41%、地区によっては50%を超えているところもあるが、独居老人の推移を見ると、世帯数は増えていて自宅での生活者が多くなり施設入居者が減少している。日頃の介護予防事業や在宅サービスが整備されている成果であれば喜ばしいことであるが、自宅生活者の中に、施設入居を希望しながら入居できず待機している方が含まれているのかを同う。

町長 施設入所者数に

ついては人口減少の影響もあり、年々減少傾向にあり、要因としては介護予防事業の推進により健康寿命の延伸が図られていることや、訪問介護や通所介護などの在宅サービスが整っており、自宅で生活を継続出来る環境が町にあることが考えられ、また官民一体となって取り組みを進め

ている見守り体制の充実も減少要因の一つであると考えている。

施設への申し込みを行い、在宅で生活している方も数に含まれており、令和8年2月末時点での町内に施設待機者数は、介護保険施設と養護老人ホームを合わせて13名となっており、独居世帯全体の1・2%となっている。今後も介護ニーズや人口動態の変化に注視し、高齢者が安心して暮らせる地域作りの推進に努めていきたいと考えておりご理解願います。

町長 再 待機の方々はどの

程度の間待たされるのかまた、待機期間中もある程度の生活は出来るような体制が整っているのか同う。

町長 高齢あんしん課長 特

別養護老人ホームに確認したところ、早い方で1週間、長くても2、3か月と聞いておりこの間、在宅サービスも

利用継続して頂いている。施設の種類や本人の状態に応じて待機期間は違うが、急ぎ対応が必要な方への入所については、施設のご協力もあり早めに入所に繋がることもあり、今後も在宅サービス、施

設サービスが円滑に運営され、高齢者の方々が安心して暮らし続けられるよう事業所ともしっかり情報共有していきたいと考えておりご理解願います。



介護予防事業の一つである「体操教室」及びネクストイノベーションでの「買い物支援事業」の様子



日本共産党

小野寺 真おのでら まこと 議員

問 精神障害者のフオローについて
答 地域で支える仕組みの構築に努める



小野寺 真議員

1点目、江差町障がい福祉プランでは、地域包括ケアシステムの構築に向けて保健医療福祉関係者が連携して取り組むとされているが現状を伺う。

2点目、精神病院から退院した後のフオローはどのように行っているか。

町長 1点目、本人の希望が前提となるが、個別ケース会議を開催しながら必要な支援を行っており、必要な場合は医療機関や関係機関と情報共有を図って対応を行っております。2点目、分かりやすい福祉サービス制度の周知を図り、気軽に役

場へ連絡相談できる体制を整え、必要な支援やサービスの利用に繋げるなど、地域全体で支える仕組みの構築に努めていきたいと考えておりご理解願います。

再 自ら積極的に支援を訴えるということができないという方もおり、本人から連絡がなくても情報が入ったら訪問するという体制を整える必要があると考えているが所見を伺う。

町民福祉課長 短期間入院の場合は、町に連絡が来ないため把握が難しいが、医療機関、町内会や近所の方から連絡を頂いて訪問に繋がっているケースもあり、関係部署が連携を取り対応しております。今後も町内会や民生委員、各医療機関などと情報共有を図りながら、必要な支援に繋がっていききたいと考えておりご理解願います。

問 シルバーハウジング入居について
答 関係部署と共有・検討していく

入居手続きは、緊急通報システム設置のための固定電話契約等多くの手続きが必要でありそれらに対する支援が必要と考える。町として今後どのような支援体制を考えているか伺う。

町長 入居決定段階での早期の課題把握、関係部署と連携しながら

必要な手続きへの案内や支援体制強化を考え、ておりご理解願います。**再** 日常生活自立支援事業において、入居に係る手続きや引っ越しなどの業務を支援できるのか伺う。

高齢あんしん課長 引っ越しに関する手続き支援などの実績があり、社会福祉協議会と

問 介護保険・高齢者施策について
答 実情を踏まえ、今後検討していく

1点目、施設の人員の配置基準の緩和や在宅サービスの在り方の見直しが進められようとしているが、今回の制度改正をどのように受け止めているのか伺う。

2点目、第10期介護保険事業計画策定に向けた検討が進められているが、江差町としてどのような議論をしているのか伺う。

3点目、頼れる身寄りがない高齢者の問題について、町として体制を図るべきと考えるが所見を伺う。**町長** 1点目、十分な検証が必要であると考えており、今後の動向を注視するとともに、実情や現場の声を踏まえながら在り方について検討していきたいと考えております。

2点目、調査結果の分析及び今後の課題について協議を行ったところであり、引き続き協議を進め、当町の実情に即した計画の策定に取り組んでいく考えであります。

3点目、今後示される制度の詳細や役割分担を注視するとともに、関係機関と連携を図りながら体制作りについて検討していきたいと考えておりご理解願います。**再** 移動時間の負担が大きいこと、国が示している配置基準を満たす職員の確保等が現状の課題と考えるが事業者との協議などどのように行うのか伺う。

社会文教常任委員会

『江差町における高等学校の在り方に関する事務調査』

社会文教常任委員会は、令和7年第6回臨時会で事務調査をおこし、担当課とのヒアリング、各中学校及び高校とのヒアリングをおこない、調査をした結果について次のとおり報告した。

■調査の目的

高等学校を巡っては、少子化の波を受けて子どもたちが減少しており、生徒の確保が課題となっている。当町の江差高等学校においてもその影響は避けられない状況である。

地域において、高校の存続は子どもたちの教育の問題だけでなく、将来の町づくりにおける根幹的な施設であるとの認識のもと、今、必要な対策を講じなければならない。

当委員会では、高等学校を巡る現状を把握し、学校の存続・維持のために、町として取り組むべき課題について調査することとした。

■意見

I. 江差高校の現状

高校存続のために2クラス制の維持が必須であると感じていた。檜山管内の中心連絡校としての役割を担う上でもそれを守らなければならない。

上ノ国高校は入学者が前年から10人増えた。上ノ国高校の取り組みは、同校及び支援する町の努力の結果である。

子どもたちに選ばれる学校となるために、今、町として何をなすべきか考える必要がある。

II. 魅力化・特色化

子どもたちに選ばれる高校となるためには、より魅力的で特色ある学校づくりが要求される。高校の魅力は、高校就学期間の充実さに求められるべきであろう。

特色化についても、奇をてらったものを選択する必要はなく、地元の特色に着目し、それらの体験機会を増やすことで、子どもたちの将来の進路にヒントを与えることができると考える。

III. 町からの助成等

生徒の負担を軽減し、江差高校を選んでもらうために、町の助成の検討を要する。

通学バス代、奨学金、漢検・英検などの資格取得の検定料、修学旅行の費用、クラブ部活動の費用、制服やジャージの費用、下宿の費用などの項目について声が上がっており、助成を考慮すべきである。

IV. クラブ活動

生徒数の減少で、学内のみで活動できない状況にあり、スポーツ・文化ともに他校との連携を含め、生徒のクラブ活動に積極的な支援を講じるべきである。

V. 支援が必要な生徒への意見

支援が必要な生徒に対する受け入れのための特別支援クラス設置を求める声もあった。現在の江差高校の体制では実現には困難な側面もあるが、選択肢が増え入学者増のために、その可能性について考えてみる必要がある。

上記の意見を踏まえ、江差高等学校の存続・維持のために、他校の取り組み等を参考にしながら、当町の支援策を検討すべきである。

常任委員会
議会改革調査特別委員会

事務調査継続中！

総務産業常任委員会 『交流人口拡大に関する事務調査』

社会文教常任委員会 『郷土芸能の維持・継承に関する事務調査』

出欠状況をお知らせします！

令和8年4月1日から6月30日の出欠状況です。斜線部分は出席する必要のない会議です。

会 議 名	会議日	総務産業常任委員会						社会文教常任委員会					議長
		委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員長	副委員長	委員	委員	委員	
		大門和幸	西海谷望	飯田隆一	室井正行	小梅洋子	田畑豊利	出崎太郎	小野寺真	打越東亜夫	塚本眞	増永一彦	
第2回定例会	6月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回臨時会	4月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3回全員協議会	6月1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4回全員協議会	6月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務産業常任委員会	6月1日	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△
社会文教常任委員会	6月3日	△	△	△	△	△	△	○	○	● ⁶	○	○	△
議会改革調査特別委員会	4月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議会広報特別委員会	4月13日	○	○	△	△	△	○	○	△	△	△	○	△
	6月26日	○	○	△	△	△	△	○	△	△	△	○	△
議会運営委員会	4月27日	△	○	○	○	△	△	○	○	△	△	△	○
	5月27日	△	○	○	○	△	△	○	○	△	△	△	△
	6月5日	△	○	○	○	△	△	○	○	△	△	△	○

○：出席 ▲：欠席（公務） ●：欠席（中の数字：1 傷病・2 出産・3 育児・4 看護・5 介護・6 私用・7 早退）

議会ホームページをご覧ください

定例会の日程、審議内容の他、平成24年度以降の会議録を閲覧することができます。議会だよりへの掲載は、紙面の都合上、一部省略しております。詳しくはHPにてご確認願います。

（議会HPアドレス）

<https://www.hokkaido-esashi.jp/gikai/gikai.html>



みんなの議会 傍聴しませんか

次の定例会は**9月**です。日程は
ホームページでお知らせします。

江差町議会本会議は、どなたでも傍聴することができます。

皆様の傍聴をお待ちしております。

新議員が決まりました！

田畑豊利議員が一身上の都合により6月15日付で辞職され、増永一彦議員が江差町長選挙に立候補したため、7月7日付で自動失職となりました。

また、田畑豊利議員の辞職に伴い、7月7日に告示された町議会議員補欠選挙において、池内卓也氏以外に届出がなく、無投票で当選が決まりました。

◆ 新議員名：池内 卓也 （63歳）

◆ 任 期：令和8年8月13日～令和9年8月10日



江差町議会第2回定例会 賛否一覧

(凡例：賛成：○ 反対：× 欠席：欠)

議 件 名	増永一彦	大門和幸	田畑豊利	出崎太郎	西海谷望	小梅洋子	室井正行	小野寺真	飯田隆一	打越東亜夫	塚本真	採決結果
承認第1号 令和8年度江差町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第1号 江差町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号 令和8年度江差町一般会計補正予算（第4号）について	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第3号 令和8年度国民健康保険費特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号 工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号 工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第1号 地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第2号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第3号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1／2への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書の提出について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	可決
発議第4号 道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書の提出について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	可決
発議第5号 令和8年度北海道最低賃金改正等に関する意見書の提出について	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	可決

議会インターネット配信をご覧ください

YouTube 江差町議会 |

議会定例会・臨時会を、動画配信サイトYouTube（ユーチューブ）でご視聴いただけます。

1 スマートフォン・タブレットから

- ① 右のQRコードを読み取る
- ② メニューから、動画を選びタップ



2 QRコードが読み取れない・パソコンから

- ① 動画配信サイトYouTubeを検索しサイトに入る。
- ② 検索画面で「江差町議会」と入力し検索する。
- ③ 視聴したい動画を選びクリックする。



YouTubeでは議会の様子（左記）のほか、各議員の一般質問のやり取りや議案への賛否状況なども確認することができます。是非、YouTube配信をご覧ください。

※ YouTubeは「江差町議会」で検索！

臨時会

4月27日に第2回臨時会が行なわれ、議案について審議し原案どおり可決、閉会しました。

【第2回臨時会】

◎承認

◇認知症高齢者グループホーム等の防災改修等支援事業
※繰越明許費補正

◇江差町かもめ島交流拠点づくり基金積立 693万円

◇第51回衆議院議員総選挙及び第27回最高裁判所裁判官国民審査 310万円

◇地域活性化支援事業補助 264万円
※財源更正（一般財源からその他特定財源へ）

◇江差町税条例の一部を改正する条例の専決処分 10万円

◎補正予算（一般会計）

◇江差港漁船等上乗施設整備工事 649万円

◇開陽丸記念館仮設電源工事 88万7千円

◇陣屋町「小平沢地区」テレビ難視聴対策鋼管柱建替工事 66万5千円

全員協議会を開催しました！

6月1日に第3回、6月15日に第4回全員協議会が開催され議員に対し理事者側から下記の内容について説明がありました。

- 第3回全員協議会（6月1日）
 - ・江差町歴史的風致維持向上計画策定事業について
- 第4回全員協議会
 - ・新道の駅の名称について
 - ・洋上風力における人材育成施設の整備について



洋上風力人材育成施設として活用が予定されている「まなびつく」

◇江差町スポーツ少年団活動助成事業 460万8千円

◎契約の締結

■令和8年度総合行政システム標準化対応業務
契約金額…1億450万円

■（仮称）道の駅「かもめ島」建設工事

契約金額…19億3,666万円

研修会に参加しました！

令和8年度 道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連絡会総会及び研修会

4月23日、「北斗市総合文化センター かなで〜る」において、総会及び研修会が開催され、当議会より出崎議員・大門議員が出席しました。

研修会では、「北海道の森林林業政策について」「はこだて広域森林組合 合併の効果と現状の課題について」それぞれの講師より講演がありました。



江差町公設地方卸売市場落成式に出席しました！



落成式の様子



国道228号線かもめ島入口交差点改良工事により、旧市場の移転が決定し、新市場の工事が3月31日で完了しました。

江差町より当議会へ、当市場落成式のお招きがあり、4月28日、落成式へ出席しました。

落成式では、萩原議長が祝辞を述べ、テープカットに参列しました。



議長祝辞・テープカット

議会の動き

- | | |
|-------|---|
| 4月10日 | ◆道南林活議連役員会（塚本議員） |
| 4月12日 | ◆たばかせ保育園開園式 |
| 4月13日 | ◆議会広報特別委員会 |
| 4月23日 | ◆道南林活議連総会及び研修会（北斗市：出崎議員、大門議員） |
| 4月27日 | ◆議会運営委員会
◆第2回臨時会
◆令和8年度江差町議会議員会総会
◆議会改革調査特別委員会
◆檜山町村議長会定例議長会（議長）
◆新・市場落成式 |
| 4月28日 | |
| 5月18日 | ◆新道の駅「かもめ島」建設工事安全祈願祭 |
| 5月27日 | ◆議会運営委員会 |
| 6月1日 | ◆第3回全員協議会
◆総務産業常任委員会
◆檜山地域振興協議会総会ほか（江差町：議長） |
| 6月5日 | ◆議会運営委員会 |
| 6月9日 | ◆北海道町村議会議長会第77回定期大会（札幌市：議長） |
| 6月15日 | ◆第2回定例会
◆第4回全員協議会 |
| 6月17日 | ◆南部松山衛生処理組合議会議員協議会
◆南部松山衛生処理組合議会議長協議会第1回臨時会（西海谷議員、大門議員）
◆檜山広域行政組合議会議長協議会（小野寺議員）
◆檜山広域行政組合議会議長協議会第1回臨時会（小野寺議員、出崎議員） |
| 6月26日 | ◆議会広報特別委員会 |



施設見学の様子

今号の表紙

☆ 世代の垣根を越えて

7月15日、シニアカレッジと児童・園児との交流が開催されました。シニアカレッジでの交流を通じて、子どもたちが楽しく学び、あたたかなふれ合いの時間となりました。



（撮影者：西海谷 望 議会広報特別委員会委員）

議会からのお願い 議会だより取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



この用紙は、原材料の一部に
道産間伐材を使用しています